

吉祥山安祥寺きちしやう あんしやうじは御廟の東にあり、真言宗まごんしゅうにして紀州高野山宝性院きしゅうかうやさんほうしやういんの兼帯所きんたいしよなり、俗呼んで高野堂といふ。本尊は十一面観音じゅういちめんくわんおんなり。傍に地藏堂あり、惠運僧都ゑうんそうづ入唐の時将来し給ふ地藏尊なり。当寺は染殿皇妃そめどのくわうひの御願にして貞觀元年の建立なり。「初めの地は如意山壇の谷にあり、慶長年中今の地にうつす、故に如意山に至り当寺の境内なり」